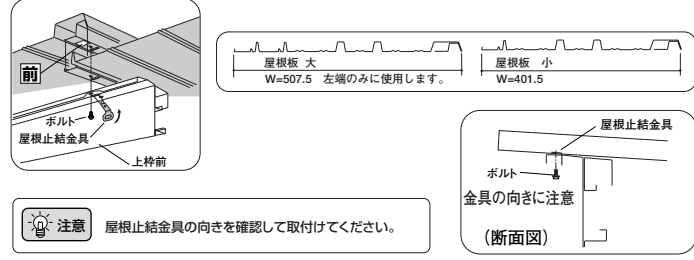
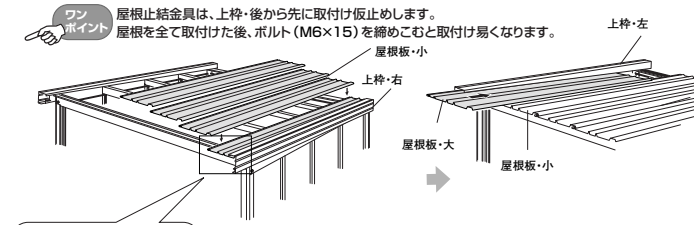




## 10 屋根板の取付け

- 屋根板は、物置に向かって右端から屋根板・小を順に取付けて行き、(1枚目～6枚目)左端に屋根板・大(7枚目のみ)を取付けます。この時(前)のマークの入っている方を前にします。
- 隣同士の屋根板の角孔と上枠・後の角孔に屋根止結金具を通しボルト(M6×15)で仮止めします。上枠前、はり前、はり後も同様に仮止めします。(計24ヶ所)

**注意** ソフトテープを破損しないように屋根を取付けてください。

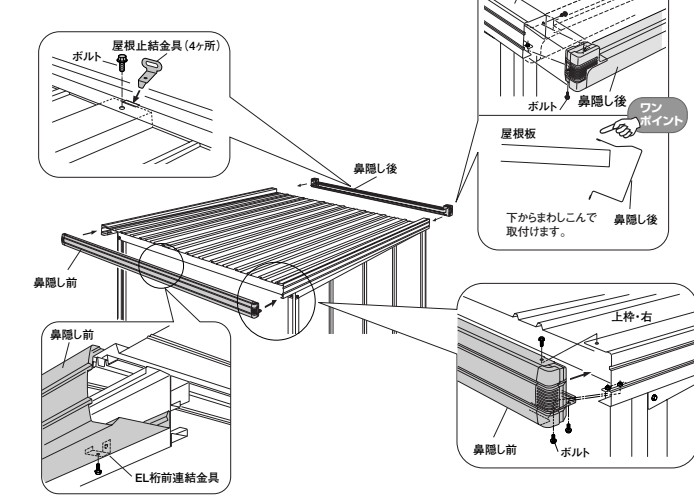


**注意** 屋根止結金具の向きを確認して取付けてください。

## 11 鼻隠しの取付け

**注意** オプションを付ける場合は、「オプションイセツ」組立説明書を先にお読みください。

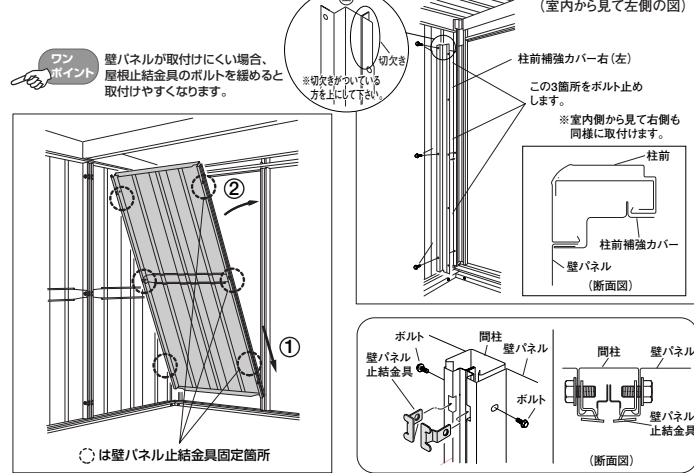
- 鼻隠し前の上枠・右、上枠・左に差し込み、ボルト(M6×15)止めします。鼻隠しの中央をEL桁前連結金具にボルト(M6×15)で固定します。
- 鼻隠し後も同様に取付けます。
- 屋根止結金具を使って鼻隠し後を屋根板にボルト(M6×15)止めします。



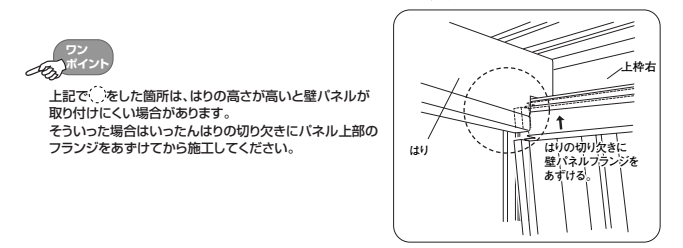
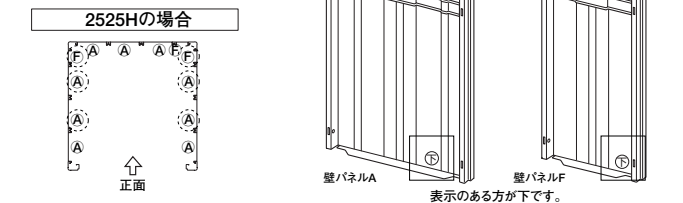
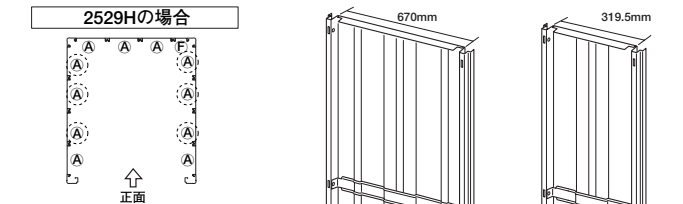
## 12 壁パネル・柱前補強カバーの取付け

- 室内から壁パネル(△壁・●壁の2種類があります)をはめ込みます。下を先に入れて、上をはめ込みます。壁パネルと下枠に三角形のすきまが発生した際隣同士の壁パネル止結金具の角孔が上下方向にずれる場合は、基礎の水平、本体の立ちを確認してください。
- 上下中央の3ヶ所を壁パネル止結金具でボルト(M6×15)で止めします。
- 柱前補強カバーを壁のフランジと柱前にかぶせて壁パネル側(3箇所)のみボルト(M6×15)で止めします。(壁パネル止結金具は使いません。)

**注意** 壁パネルには上下がありますので注意してください。壁パネルと下枠に三角形のすきまが発生した際隣同士の壁パネル止結金具の角孔が上下方向にずれる場合は、基礎の水平、本体の立ちを確認してください。



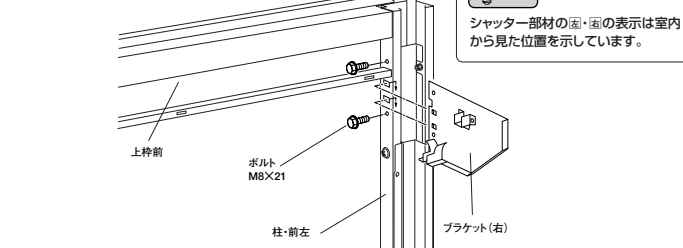
## 13 シャッターの取付け(1)



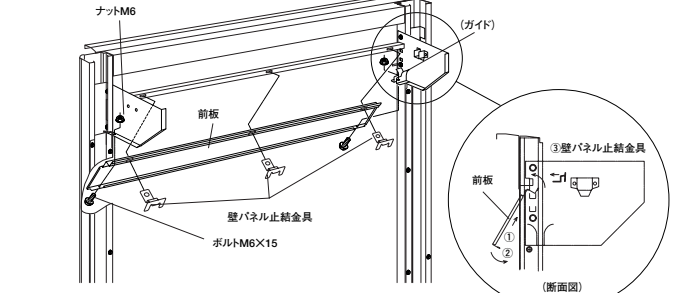
## 13 シャッターの取付け(1)

- ブラケットのツメを柱前の角孔に引っかけ、ボルト(M8×21メッキ)で固定します。

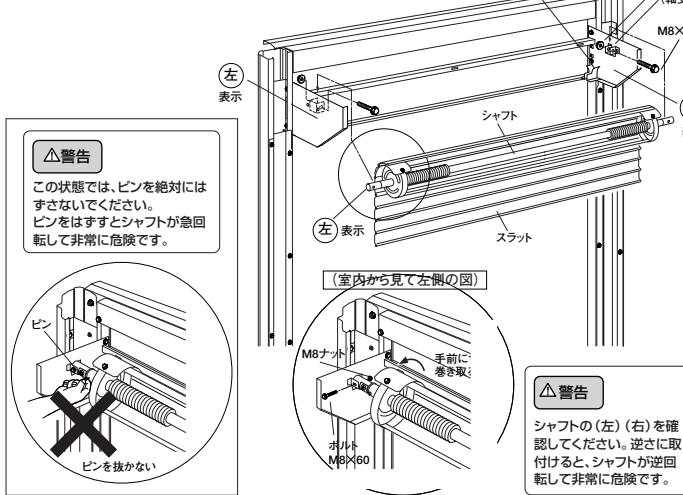
**注意** シャッター部材の△・●の表示は室内から見た位置を示しています。



- 前板を壁パネル止結金具で上枠前に引っかけ、ボルト(M6×15)で固定します。下板はブラケットのガイドにボルト(M6×15)、ナット(M6W16)で固定します。



- スラットをガイドに通して、シャフトをブラケットの軸受にのせます。
- スラットをガイドに通しながらシャフトの●表示が室内側に向く位置(180°室内側に巻き取った位置)まで巻きとり、ボルト(M8×60)・ナット(M8)で固定します。  
※ボルト(M8×60)・ナット(M8)はブラケットに仮止めしてあります。

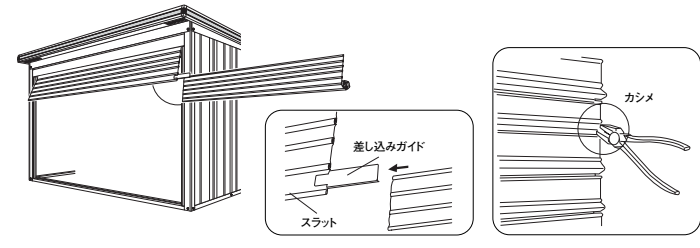


**警告** この状態では、ピンを絶対にはずさないでください。ピンをはずすとシャフトが急回転して非常に危険です。

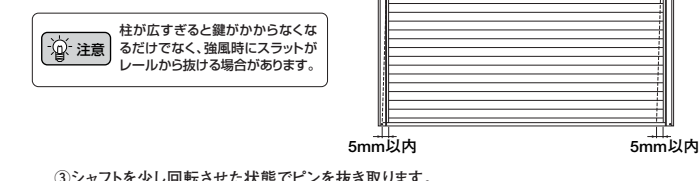
**警告** シャフトの(左)(右)を確認してください。逆さに取付けると、シャフトが急回転して非常に危険です。

## 14 シャッターの取付け(2)

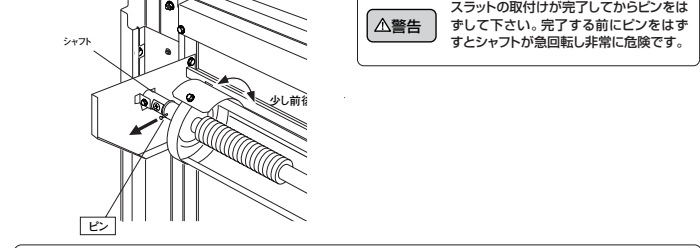
- スラットを差し込みガイドを使って順次差し込んで行き、縦ぎ目の両端をベンチ等でカシメ固定します。



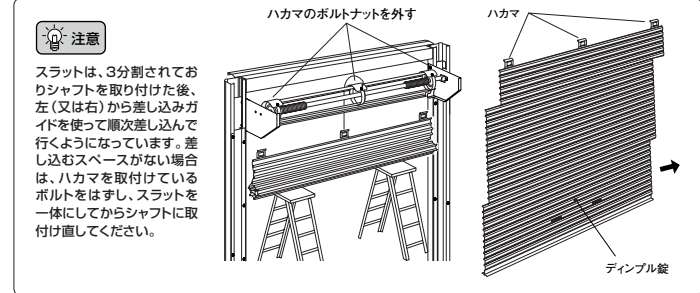
- スラットをおろし柱とゆがみがないか確認してください。  
※柱の傾きが5mmを超えるとシャッターの開閉に、支障をきたす場合がありますのでサゲリ等寸法の確認を必ず行ってください。尚、レール間ピッチも上下とも5mm以内で施工してください。



- シャフトを少し回転させた状態でピンを抜き取ります。

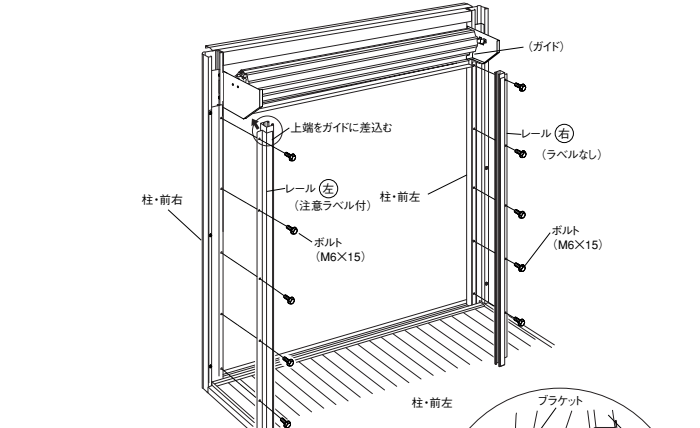


**警告** スラットの取付けが完了してからピンをはずして下さい。完了する前にピンをはずすとシャフトが急回転非常に危険です。



## 15 シャッターの取付け(3)

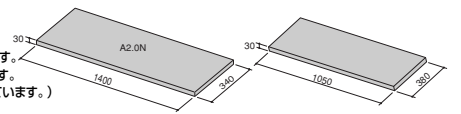
- スラットを、ブラケットのガイドに通しながら巻き上げます。
- レール左の注意ラベルを室内に向けて、上端をブラケットのガイドに差し込んで、柱・前右にボルト(M6×15)で固定します。レール右(ラベルなし)も同様に取付けます。



**注意** 柱前と柱前補強カバーの間にはわずかな隙間がありますが、レールを取り付ける際は必ず柱前補強カバーの上に乗せてボルト止めしてください。

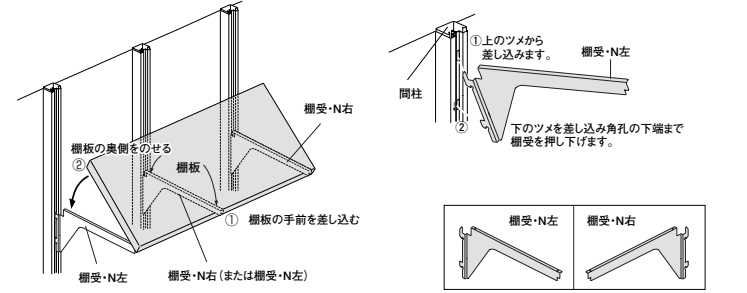
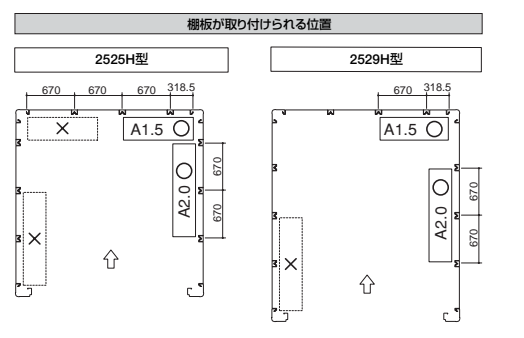
## 16 棚板の取付け

- 棚受を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
- 棚板を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が2枚、A1.5Nが2枚付いています。)



**注意** ●前柱部分(正面側)には取付けできません。

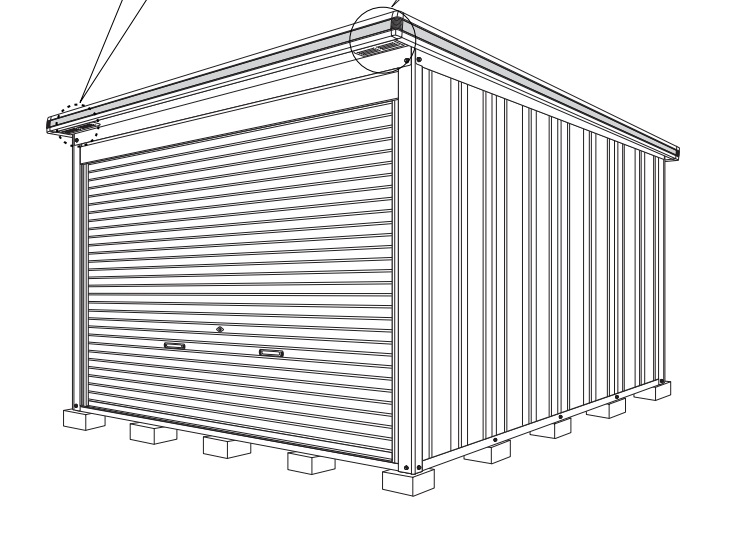
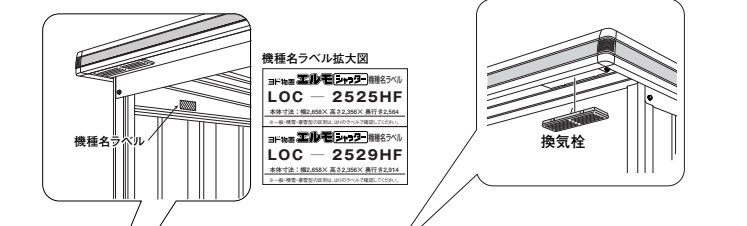
- 棚板A2.0は壁パネルの内寸法669mm(壁パネルA)が2つ並んでいる箇所に取付け出来ます。
- 棚板A1.5Nは壁パネルの内寸法669mmと318.5mmのパネルが並んでいる箇所に取付け出来ます。



## 17 その他の部品取付け

**注意** 機種名ラベルは必ず貼付けてください。

- 取扱説明書に同封の機種名ラベルを上枠左の室内側に貼ります。ご購入の機種名が入っている方を貼ってください。
- 換気柱(左右共通)をはめ込みます。換気柱には前後があります。製品の内側にある刻印を確認してください。



## 18 完成

最後に、ボルトのゆるみがないかどうかもう一度確認してください。

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

シャッター標準(床) 2525HF・2529HF

ヨドコウ 淀川製鋼 (2008.11月制作)